

## 1. 民族学・文化人類学等普及事業

一般市民を対象に、民族学・文化人類学の普及のため、国内唯一の民族学・文化人類学の研究センターである国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施する。

- 1) 国立民族学博物館収蔵資料「梅棹忠夫アーカイブズ」の整理及びデータの整備に協力  
国立民族学博物館は収蔵された膨大な梅棹忠夫アーカイブズ資料を整理して、総合的に関連付けた基礎データを作成している。この基礎データは、研究者による内容把握や相互関連などの研究に資するとともに、最終的には、日本の民族学研究史、探検史、梅棹忠夫の学問体系の成立過程の解明などに関する研究者の分析結果を動的に反映できる、参加型・成長型の梅棹忠夫デジタルアーカイブズの構築の基本情報となるものである。
- 2) 民族学・文化人類学の研究促進・普及を目的とした図書企画・編集・発行  
国立民族学博物館友の会会員をはじめ、一般市民を対象とする家庭学術雑誌『季刊民族学』4号（148号～151号）の編集、発行及び集広をおこなう。  
『季刊民族学』特集のテーマ  
148号（4月25日発行）特集「復興への道2」日高真吾（民博准教授）ほか  
149号（7月25日発行）特集「女神」田中雅一（京大教授）ほか  
150号（10月25日発行）民博創設40周年・本誌150号記念特集  
151号（1月25日発行）特集「インド 食の思想と象徴」小西正捷（立教大学名誉教授）ほか
- 3) 民族学・文化人類学の普及を目的とした各種講演会及びセミナー等の企画・運営  
国立民族学博物館友の会会員をはじめ、一般市民を対象に「友の会講演会」を大阪で12回、東京他で3回の開催をおこなう。「みんぱく見学会」3回、「体験セミナー」2回、「民族学研修の旅」2回、ワークショップ1回を下記のとおり実施する。

### ① 国立民族学博物館友の会講演会

大阪：毎月第1土曜日 14:00～15:00 国立民族学博物館（懇談会 15:10～16:10）

通算回数（開催日）：講師(所属) / 「演題」

- 第430回（4月5日）：塚田 誠之（民博教授） /  
新 中国地域の文化展示より「中国最多の少数民族、チワン（壮）族の現在」
- 第431回（5月3日）：韓 敏（民博教授） /  
新 中国地域の文化展示より「漢族はなぜ家族を大切にするのか？」
- 第432回（6月7日）：菅瀬 晶子（民博助教） /  
新 日本の文化展示より「新大久保の多民族化 ― 出身者の立場から（仮）」
- 第433回（7月5日）：日高 真吾（民博准教授）、呉屋 淳子（民博機関研究員） /  
新 日本の文化展示より「沖縄の芸能と教育」
- 第434回（8月2日）：朝倉 敏夫（民博教授） /  
新 朝鮮半島の文化展示より「朝鮮半島における「食」の近代化 ― うどん・オムライス・味の素（仮）」

- 第 435 回 (9 月 6 日) : 岸上 伸啓 (民博教授) /  
企画展「未知なる大地グリーンランド (仮)」関連 「未定」
- 第 436 回 (10 月 4 日) : 吉田 憲司 (民博教授) /  
特別展「イメージの力」関連 「未定」
- 第 437 回 (11 月 1 日) : 未定 (民博\*\*) /  
「未定」
- 第 438 回 (12 月 6 日) : 佐々木 史郎 (民博教授) /  
「ナラ林文化論その後 (仮)」
- 第 439 回 (1 月 10 日) : 印東 道子 (民博教授) ※交渉中 /  
フィールドワークを語る「サンゴ島で発掘されたヴェネチアンビーズからの問いかけ (仮)」
- 第 440 回 (2 月 7 日) : 池谷 和信 (民博教授) ※交渉中 /  
「日本の焼き畑の現在 (仮)」
- 第 441 回 (3 月 7 日) : 南 真木人 (民博准教授) ※交渉中 /  
ビデオトークより「ネパールのセレブ婚 (仮)」

**東京 : 14:00~15:00 (懇談会 15:10~16:10)**

- 通算回数 (開催日) : 講師 (所属) / 開催場所 / 「演題」
- 第 109 回 (6 月頃) : 未定 (民博\*\*) / 会場未定 /  
「未定」
- 第 110 回 (8 月頃) : 未定 (民博\*\*) / 会場未定 /  
「未定」
- 第 111 回 (12 月頃) : 未定 (民博\*\*) / 会場未定 /  
『未定』

**② みんなく見学会 大阪 : 土曜日 15:10~16:10、国立民族学博物館展示場で開催**

- 通算回数 (開催日) : 「展示名」 / 講師(所属)
- 第 51 回 (4 月 5 日) : 新 中国地域の文化展示 / 塚田 誠之 (民博教授)
- 第 52 回 (7 月 5 日) : 新 日本の文化展示 / 日高 真吾 (民博准教授) ほか
- 第 53 回 (10 月 4 日) : 特別展「イメージの力」 / 吉田 憲司 (民博教授)

**③ 体験セミナー**

通算回数 (開催日) : 講師(所属) / 開催地 / 「演題」 / 内容

- 第 68 回 (4 月 17 日・木、18 日・金) : 小山 修三 (財団理事長) ほか/  
奈良県桜井市「くすりの民族学」見学編

2013 年 11 月開催の友の会講演会「くすりの民族学」の見学編として人間とくすりについてひろく考える。薬草がクスリとなり、民間薬として広まる過程や歴史的背景について、大和の民間薬・三光丸の事例から考える。4/18 におこなわれる大三輪神社の薬祭り (花鎮祭) の開催にあわせて実施。

第 69 回 (秋頃・1泊2日) : 日高 真吾 (民博准教授) ほか/

岩手県釜石市・大船渡市「三陸沿岸の民俗芸能をめぐる旅 (仮)」

三陸海岸に多く伝わる民俗芸能は集落ごとに異なっている。震災を機にその多様な姿を継承する地元の活動に民博も協力している。その活動について考えるシンポジウムが予定されており、その開催にあわせて実施。東北の芸能について理解を深めるというだけではなく、民博の被災地支援の取り組みについても実際に知ってもらう機会とする。

#### ④ 民族学研修の旅

通算回数 (開催期間) : 「タイトル」 / 同行講師(所属) / 内容

第 84 回 (9月10日・水~16日・火 7日間) : 「梅棹忠夫の内モンゴル調査をたどる (仮)」 / 小長谷 有紀 (民博教授)

梅棹先生の内モンゴル調査を追体験する。砂丘の地形、植生、動物生態の観察や現在も遊牧をしている家族を訪問し、遊牧民の生活や文化について理解を深める。

第 85 回 (2月 or 3月 期間未定) : 「カンボジアの織物の里を訪ねる (仮)」 /

吉本 忍 (民博教授)

『季刊民族学 112号』でもとりあげたシェムリアップの森本喜男さんが主催するクメール伝統織物研究所を訪ねる。

#### ⑤ ワークショップ

「音と生活と音楽—音から文化の多様性を考える (仮)」

音、音楽をテーマに、親子を中心として、世界の民族文化に親しんでもらうための事業。舞踊体験のワークショップと講演会や書籍の発行を予定。

プログラム : アフリカの音楽と舞踊の公演と踊りのレクチャー・ワークショップ

実施時期 : 11月

主 催 : 一般財団法人千里文化財団

協 力 : 国立民族学博物館

会 場 : 国立民族学博物館

## 2. 国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用の促進を目的として、一般市民を対象に、各種協力事業を実施することにより利用者の便宜を図る。

### 1) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業

- ① 国立民族学博物館 本館展示の『展示ガイド』の編集協力・制作及び頒布
- ② 国立民族学博物館 特別展及び企画展の解説書の編集・制作及び頒布
- ③ 国立民族学博物館の映像資料の複製発行及び頒布、展示品のレプリカ・ポストカード、記念品等の制作及び頒布、現地産民族資料及び民族学・文化人類学関連図書の頒布
- ④ 国立民族学博物館オリジナルカレンダーの制作・発行及び頒布

## 2) 国立民族学博物館の普及事業

### ① 「国立民族学博物館友の会」の運営

「国立民族学博物館友の会」は国立民族学博物館と市民の間のかけはしとなる役目を担い、会員に、講演会などの催しものや出版物などをおして、民博のさまざまな活動や研究成果を紹介。

### ② 「国立民族学博物館友の会」会員（維持会員・正会員・キャンパスメンバーズ・フリーパス）の増強

### ③ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』の編集協力・制作及び編集事務を受託し実施

### ④ 国立民族学博物館カレッジシアター「映像で見る世界の文化シリーズ（仮称）」

（於 あべのハルカス近鉄本店ウィング館9階 Space 9）

## 3) 国立民族学博物館来館者の学習支援事業

### ① 「展示解説シート」の編集協力・制作

### ② 展示案内学習支援等業務を受託し実施

### ③ 研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施

### ④ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施

### ⑤ 関連催し物の開催支援及び運営事業

研究公演の運営を受託し実施

## 4) 国立民族学博物館活動に協力する事業

国立民族学博物館特別展「イメージの力」に対する協力として各種広報活動をおこなう。

## 3. 博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館活動を支援する。

### 1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査研究

#### ① 出前授業プログラム開発及び普及

#### ② 各地の博物館等の施設を活用する巡回展

#### ③ 博物館等に収蔵された資料を活用する展覧会

### 2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

#### ① 指定管理者制度における博物館運営に関する調査研究

#### ② 巡回展のための什器に関する調査

#### ③ 博物館におけるミュージアム・ショップの役割に関する調査研究

### 3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

#### ① 『千葉県立中央博物館』（日本生命財団より受託）

#### 4.文化施設と連携した利用促進及び地域活性化事業

博物館及び周辺施設に集積された資料や情報を活かしながら、各施設と連携し一般市民に情報を享受する機会を創出する。

1) 季刊誌『森発見』の編集・制作

季刊誌『森発見』：「自立した森再生センター」の活動を紹介した広報誌。第34号～第37号の編集を大阪府から受託し実施。「自立した森再生センター」は、日本万国博覧会記念機構が、日本万国博覧会（70年万博）跡地を「自立した森」として再生させる活動を強化するために、平成18年に設立。研究機関や民間団体等との連携により長期的な計画性をもった活動を進めている。

#### 5.文化活動支援事業

多様な文化の浸透をめざし、各種文化活動に協力する。

1) 「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務

第23回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託し実施する。

※「松下幸之助花の万博記念賞」：「自然と人間の共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献する、すぐれた学術研究や実践活動を顕彰している。

2) 日本展示学会の事務業務

日本展示学会の事務業務を受託し実施する。

※日本展示学会：展示に関する研究を、技術論だけでなく、社会的・文化的な観点からもひろく研究することを目的とした学会。1982年に、国立民族学博物館において設立された。

3) 同人雑誌『千里眼』の編集・発行

同人雑誌『千里眼』：千里地域に居住あるいは仕事場をもつ知識人による同人雑誌  
第126号～第129号の4号の編集を受託し発行する。

4) 日本生命財団助成『地域包括ケアの実践と展望』の制作協力業務

日本の福祉界をリードしてきた「地域包括ケア」の具体的現場実践を紹介するとともに、有識者によるコメントをとおして、さらなる発展のための視点をあきらかにする。

平成26年度収支予算書（正味財産増減計算ベース）

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（単位：円）

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	50,000	50,000	0	
基本財産受取利息	50,000	50,000	0	
受取会費	48,450,000	48,300,000	150,000	
維持会員受取会費	16,300,000	19,200,000	△2,900,000	
正会員受取会費	28,600,000	27,000,000	1,600,000	
家族会員受取会費	300,000	300,000	0	
キャンパスメンバーズ受取会費	2,500,000	1,200,000	1,300,000	
クラブ会員受取会費	750,000	600,000	150,000	
事業収益	273,890,000	272,540,000	1,350,000	
事業収益	71,030,000	63,690,000	7,340,000	
受託事業収益	202,860,000	208,850,000	△5,990,000	
広告収益	600,000	600,000	0	
広告収益	600,000	600,000	0	
受取助成金収益	7,000,000	8,500,000	△1,500,000	
受取助成金	7,000,000	8,500,000	△1,500,000	
雑収益	10,000	10,000	0	
受取利息	10,000	10,000	0	
経常収益計	330,000,000	330,000,000	0	
(2) 経常費用				
事業費	293,030,000	292,540,000	490,000	
給料手当	122,100,000	122,500,000	△400,000	
臨時雇賃金	20,500,000	20,000,000	500,000	
退職手当	10,000,000	13,000,000	△3,000,000	
法定福利費	20,120,000	20,500,000	△380,000	
福利厚生費	1,470,000	970,000	500,000	
旅費交通費	4,620,000	5,250,000	△630,000	
通信運搬費	8,005,000	4,950,000	3,055,000	
減価償却費	0	0	0	
事務委託料	5,750,000	9,800,000	△4,050,000	
印刷製本費	26,310,000	25,500,000	810,000	
諸謝金	2,480,000	1,600,000	880,000	
会議費	650,000	1,650,000	△1,000,000	
光熱水費	200,000	200,000	0	
消耗品費	800,000	900,000	△100,000	
負担金	10,550,000	8,100,000	2,450,000	
原稿写真委託報酬	10,505,000	13,000,000	△2,495,000	
支払手数料	800,000	600,000	200,000	
賃借料	920,000	420,000	500,000	
修繕費	100,000	100,000	0	
著作権等使用料	100,000	100,000	0	
教材等製作購入費	46,650,000	43,000,000	3,650,000	
教材出版物等棚卸差額	0	0	0	
館内サービス関係費	400,000	400,000	0	
予備費	0	0	0	

科	目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備考
	管理費	35,120,000	35,700,000	△580,000	
	給料手当	17,100,000	17,100,000	0	
	臨時雇賃金	200,000	960,000	△760,000	
	退職手当	3,400,000	3,400,000	0	
	法定福利費	2,600,000	2,600,000	0	
	福利厚生費	210,000	200,000	10,000	
	旅費交通費	450,000	200,000	250,000	
	通信運搬費	450,000	350,000	100,000	
	減価償却費	0	0	0	
	事務委託料	0	0	0	
	印刷製本費	550,000	250,000	300,000	
	諸謝金	1,050,000	1,050,000	0	
	会議費	380,000	380,000	0	
	光熱水費	480,000	450,000	30,000	
	消耗品費	700,000	700,000	0	
	負担金	150,000	150,000	0	
	原稿写真委託報酬	1,550,000	1,960,000	△410,000	
	支払手数料	350,000	350,000	0	
	賃借料	5,300,000	5,400,000	△100,000	
	修繕費	200,000	200,000	0	
	著作権等使用料	0	0	0	
	教材等製作購入費	0	0	0	
	館内サービス関係費	0	0	0	
	雑費	0	0	0	
	経常費用計	328,150,000	328,240,000	△90,000	
	当期経常増減額	1,850,000	1,760,000	90,000	
2.	経常外増減の部				
	当期経常外増減額				
	当期一般正味財産増減額				
	一般正味財産期首残高				
	一般正味財産期末残高				
II	正味財産期末残高				